

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性膿胸患者における経口摂取再獲得に関連する因子の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 川上 隆太郎 (リハビリテーション科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年4月16日～2026年5月31日

目的：膿胸で入院となった患者さんで、基礎疾患や元々の日常生活動作、栄養や嚥下障害の程度から経口摂取に至るケースの関連を調べ、今後の治療戦略に活かします。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2022年4月～2026年3月に当院へ入院し、急性膿胸と診断され、かつ嚥下カンファレンスで検討された成人症例

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の情報を診療録から収集する。

年齢、性別、BMI、併存疾患、発症前バーセルインデックス、発症前食形態、血液検査結果 (Alb、CRP、WBC)、Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI)、Global Leadership Initiative on Malnutrition基準 (GLIM基準)、骨格筋量、体脂肪率、体重変化量、絶飲食日数、入院時Food Intake LEVEL Scale (FILS)、退院時FILS、嚥下内視鏡検査/嚥下造影検査施行の有無、誤嚥所見の有無、NST介入の有無、歯科介入の有無、栄養経路変更の有無、リハビリ開始日、入院日数、退院時バーセルインデックス、退院時経口摂取状況 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

担当者：川上 隆太郎 部署：リハビリテーション科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971